

# 令和4年度「高校生等防災教育基礎講座」実施状況

## 1. 実施概要

令和4年度は、県立高等学校2校、特別支援学校1校の計3校で、実施しました。

内容は、防災に関する講演（講師派遣）を基本とし、加えて模擬体験を実施しました。



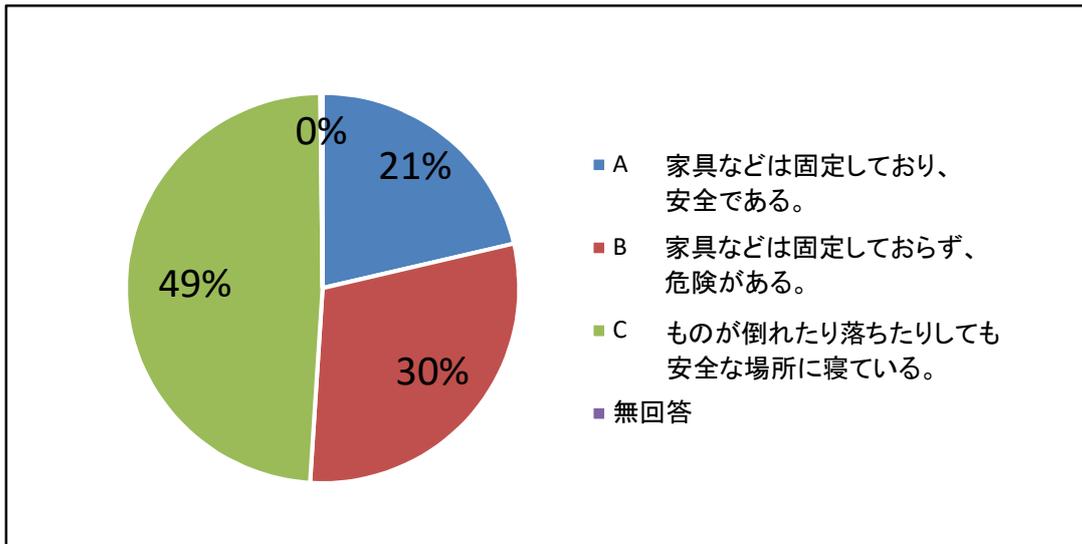
### 【実施校】

No.	実施日時	実施校・生徒数	演題・講師
1	9月13日(火) 10:55～12:15	県立飯高特別支援学校 (高等部)	「あなたにできること～防災のその前に～」 減災・福祉パートナーズ 蓮本浩介氏 ※起震車体験を実施
2	9月15日(木) 13:35～14:25	県立船橋北高等学校 (全学年)	「高校生ができる防災への取組・心得について」 地震防災アドバイザー 川端 信正氏
3	10月27日(木) 17:45～19:20	県立東金高等学校定時制 (全学年)	「防災＝“事前に考える”こと」 減災・福祉パートナーズ 蓮本浩介氏 ※起震車・煙体験を実施

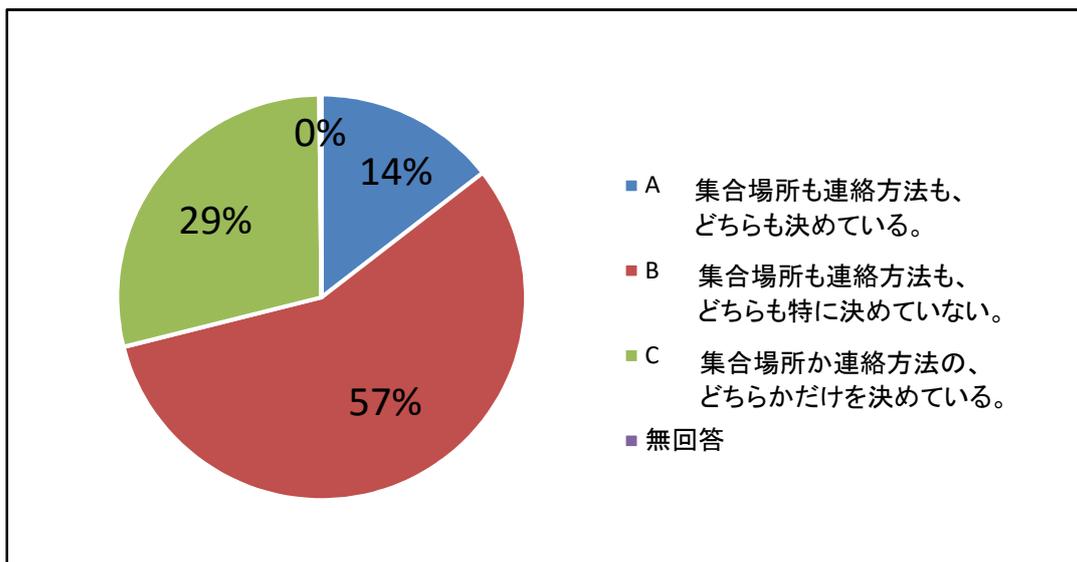
## 2. アンケート結果

「高校生等防災教育基礎講座」の参加者に対して、日常からの防災対策及び東日本大震災後の災害に対する意識を問うアンケートを実施しました。

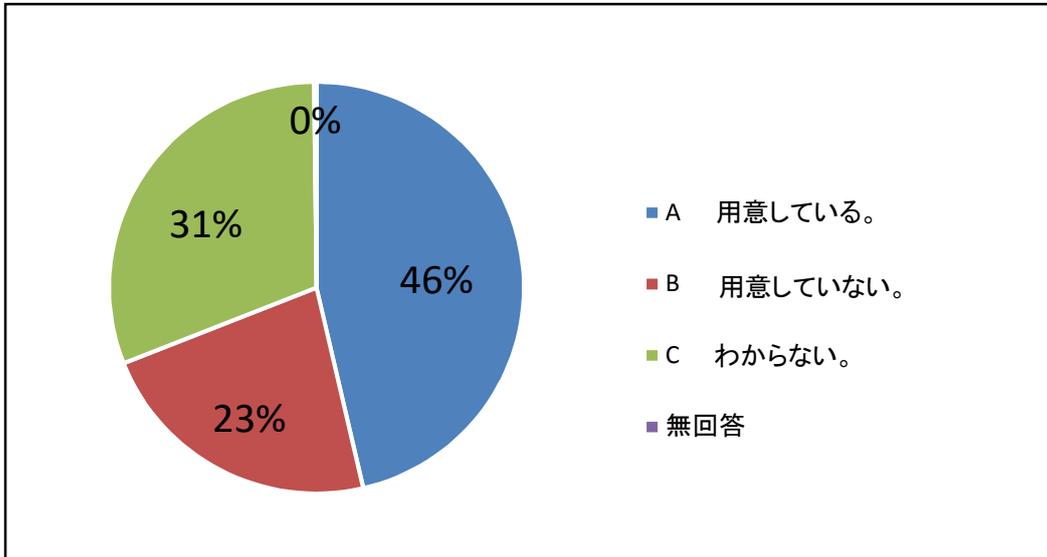
- (1) あなたの家庭では、寝ている時に地震が起こった場合、体の上にもものが倒れてきたり落ちてきたりする危険はありますか？



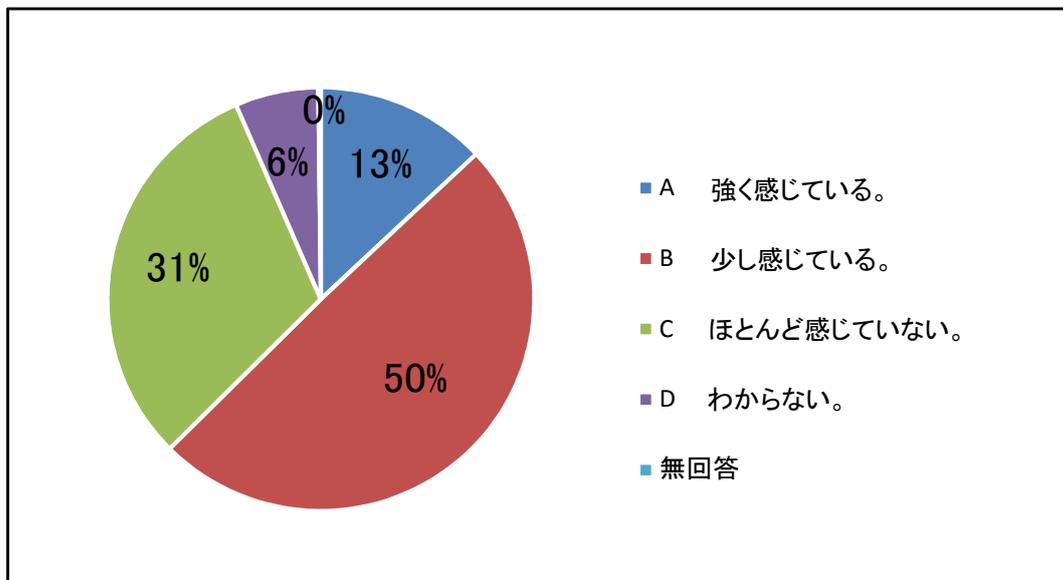
- (2) 東日本大震災の起きた当日は、各交通機関が止まり、遠くから通学している人は帰宅困難になりました。また、電話も通話が集中し、つながりにくくなりました。家族と離れている時に災害が起きた場合、集合場所や連絡方法を決めていますか？



(3) 東日本大震災のように、大災害時にあなたの家族が被災するのと同様に、自治体なども被災し、すぐには公的機関からの救援が望めない場合があります。あなたの家庭では、災害に備えて水や食料などの非常品を用意していますか？



(4) 近年、大地震や記録的な大雨・台風による被害が多発しています。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかという不安を感じていますか？



(5) 本日の講座についての感想を書いてください。(主な回答)

- ・自分も東日本（大震災）を体験して地震の怖さはよく知っているのですが、今日は良い話を聞かせてもらえてよかった。
- ・話を聞き、家族と集合場所、連絡をどうするか話し合いたいと思いました。私の家の近くには川があるので、もう少し考えていた方が身の安全を守れると思ったので、日頃から少しでも災害時のことを考えたいと思いました。今日はありがとうございました。
- ・大地震があるとスマホが通じないのは知っていたけど、公衆電話は最近ないし、あってもかけ方が分からないから、教えてもらおうと思った。
- ・小学校、中学校と防災訓練をしているけど、未だに、実際起きたときのことは分からないなと思った。実際起きても動けなさそう。今回、閉じ込められたとき笛を持っていれば気付いてもらえるかもしれないことや、服を使って担架を作れるなど色々知らなかったことが知れてとても良かったです。学んだことを実際に起きてしまったときに行動できるようにしたいです。
- ・引っ越したばかりで防災グッズなどを準備していなかったから、家族と相談しようと思った。あと、集合場所も決めておこうと思った。
- ・防災の大切さを知った。
- ・防災に対する準備の見方が変わった（外で被災した場合）。
- ・自分のできる範囲で考え工夫していきたい。
- ・家族と話し合いをしてみようと思った。
- ・大地震や風水害が起きたときの対処法など、考える時間ができて良かった。
- ・災害の危険性を改めて理解できた。
- ・家具の固定が大事。重い家具も震度によっては倒れる。
- ・災害対策の確認をしよう。普段から気を付けよう。
- ・忘れた頃に講座を聞いて、防災に対する意識をすることができた。
- ・どんな対策をするべきか考えることができた。
- ・災害について自分が知っている情報に上書きできて良かった。
- ・防災対策の重要性を知った。
- ・災害の恐ろしさ、災害に備える大切さを考えさせられた。
- ・自分の家を改めて確認しようと思った。
- ・自分のためになる災害防止の話だった。
- ・家の被害が大したことがないのに、買占めを行うことは、人間が起こす災害だ。
- ・非常品をリュックに詰めておく。
- ・防災対策をしても自然には勝てないと思うが、するとしないとで変わらと思う。
- ・分かりやすい講義だった。